

## お鋤山 植物たより (H27. 1. 16)

冬の野草の様子を見ることも散歩の楽しみです。お鋤山の駐車場では一面に春から夏に花を咲かせるハルジオン・ヒメジョオン・セイヨウタンポポ・スイバ・セイタカアワダチソウ等が地面に葉を張り付けて準備をしています。

セイヨウタンポポなどはなぜか今も花を咲かせていますが、多くは4月ごろから咲き出します。(ハルジオンやヒメジョオンの花は 26.5.15・H26.7.16 掲載)



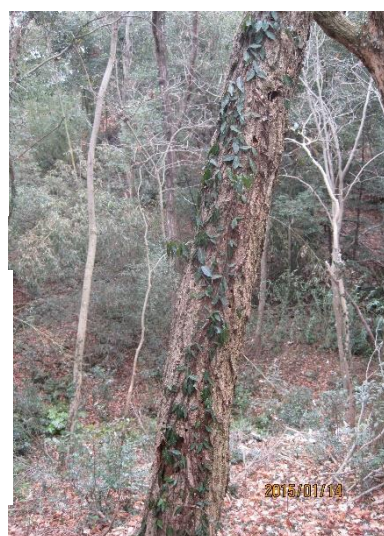
遊歩道沿いなどでは落葉したコナラなどに巻き付いているツル性植物が目立ちます。キヅタ (フユヅタ) とテイカカズラです。見上げるとコナラのでっぺんまで巻き付いているものもあります。ツル性植物は日光を浴びるために落葉樹を選んで巻き付き、さらにより日光を浴びるために上へ上へと伸びていったのです。キヅタなどは巻きひげでなく、吸盤で張り付くために樹皮に食い込んでいるのが分かります。



←キヅタ↑



↑テイカカズラ→



今の時期、お鋤

今の時期、お鋤山の展望台から見る日の出は素晴らしいです。好天であれば六所山と炮烙山の間から7時15分ころに見事な姿を現します。(日の出 H26.1.5掲載)